



取扱説明書

TORQUE[®] G04

Android 10 対応版

注意事項

ご利用の準備

基本操作

電話

付録

本書は、Android™ 10 の内容で記載しています。
最新版は『オンラインマニュアル』または au ホームページに掲載の
『取扱説明書 詳細版』をご参照ください。
<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>

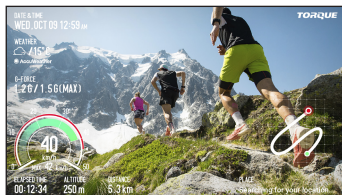
アクション オーバーレイ アクティブに活動の記録を残そう! (Action Overlay)

カメラに速度や移動距離、標高などを表示して静止画や動画を撮影できます。135°のスーパーワイドアングルカメラは手振れ補正に対応し、登山、釣りなどアクティビティーの記録を残せます。

・カメラはホーム画面→**[📷]** と操作するか、本体側面の **[📷]** (カメラボタン) を長く押して起動します。



「Basic」モード
速度／最高速度
経過時間
標高
移動距離
場所
経路情報 など

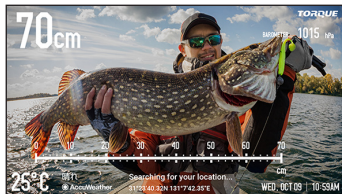


Action Overlayはカメラ起動中に「**[MODE]**」を選択すると表示されます。

「Basic」モード／「Fishing」モード／「Bike」*モード

カメラ起動中に **[MODE]** →「Basic」／「Fishing」／「Bike」*から好きなモードを選択

「Fishing」モード
測定値
気温
天気
現在地
メジャー
気圧 など



- ・自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。
- ・画面は開発中のもので、実際の仕様とは異なる場合があります。

※「Bike」モードにつきましては京セラホームページ
(<https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/consumer/lineup/g04/function4.html>) をご参照ください。

活動記録を残して振り返って楽しもう! (Outdoor Portal)

アウトドア

ポータル

Outdoor Portalがより使いやすく進化しました。天気や気圧など知りたいアウトドア情報をカード形式で登録。活動状況を日別で記録し、過去の活動を振り返って楽しめます。

1 ホーム画面→[⋮]→[アウトドア]→[Outdoor Portal]

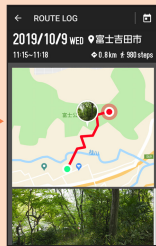
2 [⊕]



3 追加したいカードをタップ

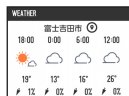


ROUTE LOG の場合
活動状況に加え、ログ設定
をしておけば、Google フォ
トと連携して活動場所での
写真の記録も残せます。



※事前に設定が必要です。

表示 (追加) できるカードについて



WEATHER
天気



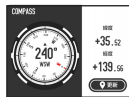
BAROMETER
WEATHER
気圧計と天気



SOLUNAR
野生動物が活発に
なる日時を表示



SUNRISE/SUNSET
日の出と日の入



COMPASS
方位計



FISH INDEX
魚の活性度を表示



MOONRISE/MOONSET
月の出と月の入



BAROMETER
気圧計と高度計



TIDE
潮汐情報

※上記の他にもカードがあります。1

役立つ機能（カメラモード・みんスピ）

水中カメラ撮影

水中でもカメラで撮影が可能。色味を最適化し、歪みも修正できるので、水中でもきれいに撮影ができます。

・カメラ起動中に **[MODE]** → **[水中]** と操作すると注意事項や操作方法が表示されます。



フォトマイスター撮影

撮影後にピントを合わせたい箇所を選んで変更することができる「あとからフォーカス変更」と、撮影後にぼかしの濃淡や効果を調整することができる「あとからぼかし調整」ができます。

1 カメラ起動中に **[MODE]** → **[フォトマイスター]** → 対象物を撮影

2 直前に撮影したデータをタップ



3 **[🔍]**



4 **[フォトマイスターエディタ]**



5 使い方を確認し、加工する



使い方の操作説明を画面で説明します。内容を確認し、画像を加工してください。

役立つ機能（カメラモード・みんスピ）

撮った写真を（SNSへ）共有する

■クイック SNS

撮影してすぐに、スワイプのワンアクションで事前に設定している SNS アプリへ写真を素早く共有できます。

・事前設定

カメラ起動中に [☰] → [クイック SNS] → [クイック SNS の使用] → 使用する SNS をタップします。

・操作方法

カメラ撮影後に画面を上方向にスワイプ → 設定した SNS アプリが起動します。



■ダイレクト SNS

機能を有効にするとサムネイルが表示され、タップすると共有するアプリを選択できます。撮影した複数の静止画や動画をまとめて SNS に投稿することもできます。

カメラ起動中に [📷] → 撮影 → サムネイルに表示された画像をタップ → 共有したいファイルにチェックを入れる → 共有方法をタップします。



みんスピ（Bluetooth®スピーカー）

TORQUE G04が防水ポータブルスピーカーになります。
グループでの外出時など、友人のスマホの音楽をBluetooth®接続で鳴らすことができます。

・ホーム画面 → [🍱] → [アウトドア] → [みんスピ] → [開始] と操作します。



ごあいさつ

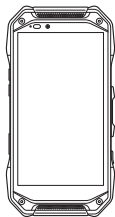
このたびは、「TORQUE G04」(トルク ジーゼロヨン)(以下、「本製品」もしくは「本体」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に『取扱説明書 Android 10 対応版』(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られるようお手元大切に保管してください。

同梱品一覧

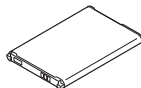
ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体
※正面スクリーン貼付済



背面カバー (KYV46TLA、
KYV46TRA、KYV46TKA)
※本体裏面に装着済



電池パック (KYV46UAA)



LOCK回転工具 (試供品)



六角レンチ (試供品)

- ・取扱説明書 Android 10 対応版(本書)
- ・設定ガイド Android 10 対応版

以下のものは同梱されていません。

- | | |
|-----------------|------------------|
| ・ACアダプタ | ・京セラ3.5φType-C変換 |
| ・USB Type-Cケーブル | ケーブル(O401QNA) |
| ・ワイヤレス充電台 | ・microSDメモ리카ード |
| | ・イヤホン |



memo

- ◎ 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
- ◎ 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

取扱説明書について

■『設定ガイド』『取扱説明書』(本書)

主な機能の主な操作のみ説明しています。

■『オンラインマニュアル』

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『オンラインマニュアル』は、本製品から以下の操作でご確認できます。

ホーム画面→→[サポート]→[取扱説明書]



また、『オンラインマニュアル』はauホームページからもご確認できます。

<https://www.au.com/online-manual/kyv46/>

■『取扱説明書 詳細版』

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『取扱説明書 詳細版 Android 10 対応版』は、auホームページでご確認できます。

<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>



■ For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the "Basic Manual" from the au website (available from approximately one month after the product is released).

『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。

Download URL:

<https://www.au.com/english/support/manual/>

■TORQUEスペシャルサイト

<https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/torque/>

■TORQUE 製品情報

<https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/consumer/lineup/g04/>

本書の表記方法について

■ 掲載されているボタン表示について

本書では、ボタンの図を次のように簡略化しています。



■ 項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記例	意味
ホーム画面→[📞]→「ダイヤルキー」タブをタップ→[1][4][1]→[📞]	ホーム画面下部の[📞]をタップします。続けて「ダイヤルキー」タブをタップした後に「1」「4」「1」の順にタップして、最後に[📞]をタップします。
ホーム画面→[⚙️]→[設定]	ホーム画面下部の[⚙️]をタップします。続けて、表示されたアプリ一覧画面から「設定」をタップします。
スリープモード中に[🔌] (電源ボタン)	スリープモード中に[🔌] (電源ボタン)を押します。

- ・タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書はau Nano IC Card 04を取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。

本書に記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。



memo

- ◎ 本書では本体カラー「ブルー」の表示を例に説明しています。
- ◎ 本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。
- ◎ 本書では「au Nano IC Card 04」の名称を「au ICカード」と表記しています。
- ◎ 本書では「microSD™メモリカード(市販品)」および「microSDHC™メモリカード(市販品)」、「microSDXC™メモリカード(市販品)」の名称を「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
- ◎ 本書の表記の金額は特に記載のある場合を除きすべて税抜です。
- ◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。
- ◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

目次

ごあいさつ	4
同梱品一覧	4
取扱説明書について	5
本書の表記方法について	6
目次	8
注意事項	9
本製品のご利用について	9
安全上のご注意(必ずお守りください)	11
材質一覧	21
取り扱い上のご注意	22
防水／防塵／耐海水／耐衝撃性能に関するご注意	29
Bluetooth [®] ／無線LAN(Wi-Fi [®])機能について	38
各種暗証番号／PINコードについて	40
データ通信料についてのご注意	41
アプリケーションについて	42
アプリの権限を設定する	42
マナーも携帯する	43
ご利用の準備	44
各部の名称と機能	44
正面カバーを取り付ける／取り外す	47
電池パックを取り付ける／取り外す	47
au ICカード(SIMカード)について	51
au ICカードを取り付ける／取り外す	52
microSDメモリーカードを取り付ける／取り外す	53
充電する	54
電源を入れる／切る	58
スタート画面について	59

基本操作	60
ホーム画面を利用する	60
アプリを起動する	60
ホームアプリを切り替える	60
本製品の状態を知る	61
マナーモードを設定する	63
機内モードを設定する	63
自分の電話番号を確認する	64
指紋認証機能を利用する	64
指紋を登録する	64
指紋認証を行う	64
メニューを表示する	65
ホーム画面を設定する	65
電池消費を軽減する	65
他のモバイル機器を充電する	66
電話	67
電話をかける	67
電話を受ける	67
連絡先から電話をかける	67
付録	68
ソフトウェアを更新する	68
故障とお考えになる前に	69
アフターサービス	73
SIMロック解除	75
周辺機器	75
イヤホンを使用する	76
主な仕様	77
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	78
輸出管理規制	78
知的財産権について	79

注意事項

本製品のご利用について

- ・本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
- ・故障とお考えになる前に、「故障紛失サポート」アプリの「クイック診断」および「トラブル診断」でご確認ください。

■ クイック診断

ホーム画面 → [☰] → [サポート] → [故障紛失サポート]
→ [クイック診断してみる]

■ トラブル診断

ホーム画面 → [☰] → [サポート] → [故障紛失サポート] →
[便利な機能] → [トラブル診断を試す]

以下のauホームページからもご確認いただけます。

<https://www.au.com/trouble-check/>



- ・サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。

- ・本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご注意ください（ただし、LTE/WiMAX 2+/GSM/UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております）。
- ・日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
- ・本製品はau世界サービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- ・本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- ・「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- ・海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- ・地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本書の記載内容を守らないことにより、生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

- ・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。

- ・本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- ・通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品(オプション品含む)の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収を行っております。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株) 製造元:京セラ株式会社



memo

- ◎本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ◎本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ◎OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。
- ◎本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{※2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{※3} の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 禁止・強制の絵表示の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、電池パック、充電用機器、au ICカード、LOCK回転工具(試供品)、六角レンチ(試供品)、周辺機器共通

⚠ 危険



高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.29「防水／防塵／耐海水／耐衝撃性能に関するご注意」



水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。防水性能については以下をご参照ください。

▶P.29「防水／防塵／耐海水／耐衝撃性能に関するご注意」



本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。

電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意ください例

- ・ スボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- ・ 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ・ ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける



分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

▶P.29「防水／防塵／耐海水／耐衝撃性能に関するご注意」



充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

▶P.29「防水／防塵／耐海水／耐衝撃性能に関するご注意」



オプション品は、auが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



ワイヤレス充電対応製品(別売)や本体背面および背面カバーの間に、金属製のもの(金属を含む材質のシールなど)を貼り付けないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



ワイヤレス充電対応製品(別売)と本体背面の間に、金属製のもの(金属を含む材質のストラップやクリップなど)を置かないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



ワイヤレス充電対応製品(別売)で充電する場合は、本製品に装着している市販のカバーなどは取り外してください。

カバーの材質や厚み、本製品とカバーの間に挟まったゴミなどの異物によって、正常に充電ができず、火災、やけど、けがなどの原因となります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。



ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。

ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。

また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下等に注意し、特に給油中は使用しないでください。可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。



使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- ・ 電源プラグをコンセントから抜く。
- ・ 本製品の電源を切る。
- ・ 電池パックを本製品から取り外す。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意



破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶ P.29「防水／防塵／耐海水／耐衝撃性能に関するご注意」



子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。



乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
LOCK回転工具(試供品)、六角レンチ(試供品)などの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



本製品を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本製品や指定の充電用機器(別売)の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について

⚠ 危険



火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



本体内部の物質などが目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本体内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告



ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。

視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。

運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。けいれんや意識喪失などの原因となります。



本製品内のau ICカードやmicroSDメモ리카ードの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、au ICカードやmicroSDメモ리카ードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



ブザーを鳴らす場合は、耳で鳴らさないでください。難聴など耳への障害の原因となります。



航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本製品から大きな音が出ます。

待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。
突然の着信バイブレータ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本製品の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



ペットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。
電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意



ストラップなどを持って本製品を振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。



Compassのキャリブレーション(コンパス補正)を行う場合は、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。



ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



背面カバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。
背面カバーが破損し、けがなどの原因となります。



背面カバーを取り付けるときは、指などの体の一部を挟まないでください。
けがなどの原因となります。



背面カバーを外したまま使用しないでください。
やけど、けが、感電などの原因となります。



背面カバーを取り外す際は、必ずLOCK回転工具(試供品)を使用して、ロックを解除してから取り外してください。
▶P.48「電池パックを取り付ける」



自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質について▶P.21「材質一覧」



本製品のスピーカー、カメラ部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。



ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ 電池パックについて

⚠ 危険



金属片(ネックレスやヘアピンなど)や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



電池パックを本製品にうまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。また、電池パックを本製品からうまく取り外せない場合は、無理に取り外さないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パックの取り付けかた、取り外しかたについては以下をご参照ください。

▶P.48「電池パックを取り付ける」

▶P.50「電池パックを取り外す」



火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



電池パックを本製品に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめてください。

誤った向きで取り付けると、電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パックの取り付けかたについては以下をご参照ください。

▶P.48「電池パックを取り付ける」



電池パック内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

電池パック内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告



異臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



濡れた手で電池パックに触れないでください。

やけど、感電などの原因となります。



電池パック内部の物質などが漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



ペットなどが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意



電池パック内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、接続端子にテープなどを貼り、絶縁してからauショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠ 警告



指定の充電用機器(別売)のコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の充電用機器(別売)は、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。

感電などの原因となります。



コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部に触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の充電用機器(別売)に海外旅行用の変圧器(トランスコンバーター)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。



本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れたものをワイヤレス充電対応製品(別売)で充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れた手で指定の充電用機器(別売)のコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な指定の充電用機器(別売)で充電してください。
誤った電源、電圧で使用するすると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
海外で使用可能なACアダプタ: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)



電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の充電用機器(別売)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く場合は、指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、ワイヤレス充電対応製品(別売)のご使用にあたって医師とよく相談してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



本製品に指定の充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器(別売)に継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

■ au ICカードについて

⚠️ 注意



au ICカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

■ LOCK回転工具(試供品)、六角レンチ(試供品)について

⚠️ 警告



六角レンチ(試供品)の先端部は、尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。
本人や他の人に当たり、けがや失明の原因となります。

⚠️ 注意



LOCK回転工具(試供品)、六角レンチ(試供品)の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質について▶P.21「材質一覧」



乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠ 警告



植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■ TORQUE GO4本体

使用場所	使用材料	表面処理
外装ケース(ディスプレイ側)	PA樹脂	アクリル系UV硬化塗装
外装ケース(正面カバー)	PA樹脂／PET	アクリル系UV硬化塗装／ハードコート
外装ケース(背面側、側面側)、音量上／下ボタン、ダイレクトボタン、USBカバー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装
電源ボタン	エポキシ樹脂	アクリル系熱硬化塗装
外装ケース(天面／底面バンパー)	TPU	-
ディスプレイ、ワイドカメラレンズ、アウトカメラレンズ	化学強化ガラス	防汚処理
モバイルライトレンズ	PMMA樹脂	-
カメラレンズ周囲部、カメラボタン	アルミ	アルマイト
ケースかん合ネジ	SWCH	焼き付け塗装
ロックノブ	SUS	Niメッキ

■ 電池パック

使用場所	使用材料	表面処理
外装	PC樹脂	-
シール	PET	-
端子	銅	金メッキ (下地Niメッキ)

■ LOCK回転工具(試供品)

使用場所	使用材料	表面処理
外装	PA樹脂	-

■ 六角レンチ(試供品)

使用場所	使用材料	表面処理
外装	パラジウム鋼	無電解ニッケルメッキ

■ 正面スクリーン

使用場所	使用材料	表面処理
外装	アクリル系樹脂 (シリコン樹脂 (接着面))	-

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、電池パック、充電用機器、au ICカード、LOCK回転工具(試供品)、六角レンチ(試供品)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。

- 本製品の防水性能(IPX5、IPX8相当)／防塵性能(IP6X)を発揮するために、背面カバーやUSBカバーをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。
ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、電池パックや指定の充電用機器(別売)、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴が付いたまま背面カバーの取り付け／取り外し、USBカバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～90%の範囲内でご使用ください。ただし、-21℃～50℃であれば一時的な使用は可能です。)
- 本製品本体
- 電池パック・au ICカード(本製品本体装着状態)
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
- 充電用機器
- 周辺機器
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 外部接続端子、ワイヤレス充電アンテナ接続端子、充電接点部をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えてそれぞれの接続端子を変形させないでください。

- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障したりする原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。

- 外部接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入ったりにしないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やパイプレータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■ 本体について

- 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- 本製品のディスプレイ表面部は、ハイブリッドシールドで保護されております。ハイブリッドシールドの表面部のシート（正面スクリーン）をはがして使用すると、機能に影響を及ぼす場合がありますためにはがさないでください。
- ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
 以下の場合にはタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・ 爪の先での操作
 - ・ 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - ・ シート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）やシールなどを貼った操作
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
 本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技術マーク㊞」が本製品本体内で確認できるようになっております。
 ホーム画面→→[設定]→[デバイス情報]→[認証情報]
 本製品内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といえます）。このような条件下での使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- カメラのレンズやディスプレイの内側が温度や湿度などの使用環境によってくもる（結露する）ことがあります。本製品の故障や不具合ではありません。
- カメラのレンズやディスプレイの内側が結露しやすい環境について
 以下のような温度の変化が大きい環境、または湿度が高い環境では、レンズやディスプレイの内側がくもる（結露する）場合があります。
 - ・ 気温の高い陸上から急に水温の低い水中に持ち込む
 - ・ 寒い場所から屋内などの暖かい場所に持ち込む
 - ・ 湿度が高い環境でUSBカバーなどを開閉する

- くもりを取る方法
高温・多湿、砂やほこりの多い場所を避け、周囲の温度が一定の場所でUSBカバーを開けた状態で放置し、周囲の温度になじませるとくもりが取れます。
- microSDメモ리카ードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 背面カバー裏側のワイヤレス充電アンテナ部をはがさないでください。ワイヤレス充電アンテナ部をはがすと、ワイヤレス充電ができなくなります。
- 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ったりすると、周囲の明暗に光センサーが反応できず、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーが汚れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でセンサー部を乾拭きしてください。
- 背面カバー、正面カバーを外したまま使用しないでください。また、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。
- 通常はUSBカバーなどを閉めた状態で使用してください。カバーを開けずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。
- 本製品内のau ICカードやmicroSDメモ리카ードの挿入口に液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。

- 本製品のスピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、正面カバーを取り外したときに、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着しないようにご注意ください。そのまま正面カバーを取り付けますと故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。送話口、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入したりすると故障の原因となります。

■ タッチパネルについて

- ディスプレイ表面が汚れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

- 手袋を着用した状態でのタッチ操作が可能です。手袋の厚み・素材によってはタッチ操作がしづらい場合があります。
- ・ 手袋に水滴が付着している状態でタッチ操作ができない場合は、水滴を拭き取ってください。
- ・ 素手でタッチ操作した後に手袋を着用してタッチ操作ができない場合は、本製品を一度スリープモードに移行してから、スリープモードを解除してください。「グローブタッチモード」を「自動」から「常に有効」に変更すると、素手でタッチ操作した後も手袋を着用したままタッチ操作が可能です。「グローブタッチモード」を常に有効にする場合は、ホーム画面→→[設定]→[ディスプレイ]→[グローブタッチモード]→[常に有効]→[OK]と操作します。
- ・ 指先がフィットしていない手袋でのタッチ操作ができない場合は、指の腹をディスプレイに当てるように操作してください。

- 手袋を着用した状態でのタッチ操作と素手のタッチ操作を同時に行った時は素手のタッチ操作を優先します。

■ 電池パックについて



Li-ion 00

(本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。)

電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。

- 長時間使用しない場合は、本体から電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。

- 電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

- 電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

- 破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。故障原因となる場合があります。

- 電池パックを水などで濡らさないでください。電池パックが濡れると故障の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。

■ 充電用機器について

- 指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、指定の充電用機器(別売)のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。指定の充電用機器(別売)やUSB接続ケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。

- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■ ワイヤレス充電について

- ワイヤレス充電台(別売)や本体背面に、金属製のもの(金属を含む材質のシールなど)を貼り付けしないでください。故障の原因となります。
- 充電完了時にワイヤレス充電台(別売)のインフォメーションLEDが点灯したままになりますが、異常ではありません。
- 満充電付近において、充電完了前に充電が停止する場合があります。
- 充電完了前に充電が停止した場合は、充電をすぐに再開しない場合があります。
- Qi規格対応製品によっては、充電開始・停止を繰り返す場合があります。指定のau製品で充電してください。
- 一定以上の温度となると、充電機能が停止したり、充電時間が長くなったりする場合がありますが、異常ではありません。温度が低下するまでお待ちください。
- ワイヤレス充電時は、電池パックの寿命の低下を抑えるため、充電量を抑える制御を行っています。
- 安定した水平な場所に、ワイヤレス充電台(別売)を置いて充電してください。
- ワイヤレス充電時は、本体のバイブレータ機能をオフにしてください。本体が振動により動き、充電が完了できなかったり、落下したりするおそれがあります。
- 充電する場合は、本製品に装着しているケース、カバー、シート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)、シールなどは取り外してください。
- ワイヤレス充電台(別売)や本体が濡れていないか確認してください。

- 本体に別売のACアダプタやUSB Type-Cケーブルを接続している状態でワイヤレス充電をしないでください。
- 充電する本製品とワイヤレス充電に対応した機器同士を近づけないでください。充電するau製品を正しく検出できず、充電できない場合があります。
- テレビやラジオなどに雑音が入る場合は、テレビやラジオなどからなるべく離れた場所でご使用ください。
- Qi規格対応製品によっては、充電中に着信しない場合があります。指定のau製品で充電してください。
- Qi規格対応製品によっては、おサイフケータイ[®]機能との相互干渉により充電開始できない場合があります。指定のau製品で充電してください。
- ワイヤレス充電時に本体のアプリケーションなどが動作すると、充電完了しない場合があります。
- ワイヤレス充電台(別売)に置かれている間は、本体が温くなる場合がありますが、異常ではありません。
- ワイヤレス充電台(別売)で充電中、通信品質などの受信状態が悪くなることがあります。
- 充電時は、ワイヤレス充電台(別売)と本体を動かさないでください。
- 充電完了後でも、本体を長時間放置している場合は、電池残量が減少している場合があります。
- ワイヤレス充電時に本製品とワイヤレス充電台(別売)の間にクレジットカード、非接触型ICカードなどを挟まないでください。充電ができなかったり、充電中に加熱するなどして本製品やカードが故障、破損するおそれがあります。

■ au ICカードについて

- au ICカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原因になります。
- カードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかけたりする、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ LOCK回転工具(試供品)、六角レンチ(試供品)について

- LOCK回転工具(試供品)、六角レンチ(試供品)に無理な力がかからないようにご使用ください。故障、破損の原因となります。
- LOCK回転工具(試供品)、六角レンチ(試供品)は無償修理保証の対象外です。

■ カメラ機能について

- 大切な撮影などをするとき、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、私的使用目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネット・ホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化したりする場合があります。

■ FCC認証情報

- 本製品は、Federal Communications Commission(FCC)の認証を受けています。
本製品のFCC IDはJOYKB46です。
また、以下の方法でも確認できます。
確認方法：
ホーム画面の「」から[設定]→[デバイス情報]→[認証情報]

防水／防塵／耐海水／耐衝撃性能に関するご注意

本製品は背面カバー、USBカバーが完全に装着された状態で保護等級(JIS C 0920)のIPX5/8相当^{*1}の防水性能および海水対応^{*2}、またIP6X相当^{*3}の防塵性能を有しております(当社試験方法による)。

また、米国国防総省が定める耐久試験MIL-STD-810Gの22項目に独自の耐久試験5項目を加えた27項目に準拠しています(当社試験方法による)。本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての状況での動作を保証するものではありません。また、無破損・無故障を保証するものではありません。

※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル/分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に電話機本体を静かに沈め、約30分間水底に放置しても、本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。

※2 常温、かつ20kPa(水深最大約2.0m)の海水^{*}に約60分沈めても本製品内部に浸水せず、電話機の性能を保つことを意味します。

※ 海水：日本沿岸部の組成を模した人工海水を使用し、弊社独自の評価を行っています。なお、プールにつきましても日本国内の消毒基準で評価を行っています。

※3 IP6X相当とは、防塵試験用粉塵(直径75μm以下)が入った装置に、電話機を8時間入れても内部に侵入しない機能を有することを意味します。

落下	高さ約2.0mから26方向で鉄板・コンクリートに落下させる試験 高さ約1.0mから500回連続落下させる試験 約100gの鋼球を1mの高さよりディスプレイ面に落下させる試験
----	--

衝撃	衝撃試験機に端末を取り付け、40Gの衝撃を6方向から3回与える試験
浸漬	約2.0mの水中に60分間浸漬する試験
風雨	降雨量1.7mm/min、6方向各30分間の降雨試験 風速18m/s環境下で30分間の降雨試験
雨滴	高さ1m雨滴(15分)の防水試験
粉塵	連続6時間(風速8.9m/sec、濃度10.6g/m ³)の粉塵試験
塩水噴霧	連続24時間の5%塩水噴霧後、24時間乾燥させる塩水耐久試験
湿度	連続10日間(95%RH)の高湿度試験
太陽光照射	連続20時間1,120W/m ² の日射後、4時間offを10日間繰り返す試験
振動	3時間(3方向各1時間/20~2,000Hz)の振動試験
氷・低温雨	-10℃の冷却水で6mm厚の氷が張るまで氷結させる試験
温度衝撃	-21~50℃の急激な温度変化で連続3時間の温度耐久試験
高温動作	動作環境：60℃で連続3時間、32~49℃まで3サイクル温度変化させる動作試験
高温保管	保管環境：70℃で連続4時間、30~60℃まで変化させる高温耐久試験
低温動作	動作環境：-21℃で連続3時間の動作試験
低温保管	保管環境：-30℃で連続4時間の低温耐久試験
低圧動作	連続2時間(57.2kPa/高度約4,572m相当)の低圧動作/保管試験
低圧保管	

凍結・融解	−10℃環境で結露や霧を発生させ1時間維持し、25℃、95%RH環境で動作を確認する試験
耐荷重	均等に約100kgfの面荷重をかける試験
耐海水	常温、かつ20kPa(水深最大約2.0m)の海水に約60分沈める試験

正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての注意事項」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

利用シーンは、上記条件で確認しており、実際の使用時、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての注意事項

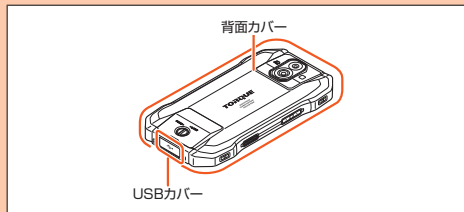
- USBカバーをしっかりと閉じ、背面カバーは完全に装着した状態にしてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
- 手や本製品が濡れている状態での背面カバー、USBカバーの開閉は絶対にしないでください。
- 水道水以外の液体(温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など)に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。

かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。

- 砂浜などの上に直に置かないでください。送話口(マイク)、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入したりすると発熱や故障の原因となります。
- お風呂場、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
シャワーの温度程度のお湯(43℃以下)が端末にかかっても故障しないことを試験しています。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 送話口(マイク)に水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
- 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- 本製品は水に浮きません。

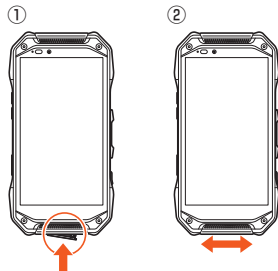
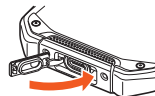
●USBカバーについて

- USBカバーはしっかりと閉じ、背面カバーは完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- USBカバーを開閉したり、背面カバーを取り外し、取り付けたりする際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- USBカバーに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。

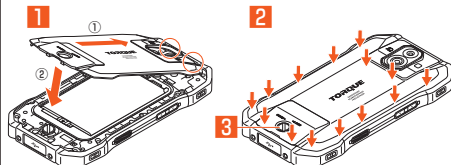


USBカバーの閉じかた

カバーのヒンジを収納してから①カバー全体を指の腹で押し込んでください。②矢印の方向になぞり、カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。



背面カバーの取り付けかた(▶P.48)



1 背面カバーを取り付ける

背面カバーの先端2箇所のツメ部から背面カバーを斜めに挿入してから①、背面カバーの下端を押して②はめ込みます。

2 背面カバー全体に浮きがないように注意しながら、矢印の箇所を押してしっかりと閉じる

3 ロックノブを時計回りに回転させて背面カバーをロックする

付属のLOCK回転工具(試供品)を使用してください。



●水以外が付着した場合

- ・万一、水以外(洗剤・アルコールなど)が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
- ・やや弱めの水流(6リットル/分以下)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5℃～35℃)の水道水で洗えます。
- ・汚れた場合、ブラシなどは使用せず、背面カバー、USBカバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。

●水に濡れた後は

- ・水濡れ後は水抜きをし、背面カバーを外さないで、本体、背面カバーとも乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
- ・寒冷地では本体に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

●ゴムパッキンについて

- ・USBカバー、背面カバー周囲のゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。
- ・USBカバー、背面カバーを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようにご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- ・水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性を維持できなくなる場合があります。
- ・USBカバー、背面カバーの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本体が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付いたりするおそれがあり、浸水の原因となります。

- ・防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのauショップまでご連絡ください。

●耐熱性について

- ・熱湯に浸けたり、熱湯をかけたりしないでください。また、サウナでの使用やドライヤーなどで熱風を当てないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

●衝撃について

- ・本製品は耐衝撃性能を有しておりますが、日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をしたりするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。

●海水／水中での使用について

- ・海水で使用する前に次の内容を確認してください。
 - ※ USBカバー、背面カバーをしっかりと閉じてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
 - ※ 接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
 - ※ 背面カバーがロックされていることを確認してください。
- ・海水で使用中、使用後は次の内容を確認してください。
 - ※ 手や本製品が海水に濡れている状態でのUSBカバー、背面カバーの開閉は絶対にしないでください。
 - ※ 背面カバーを開くとき、内側に水滴が入り込まないようにゆっくり開けてください。背面カバーの内側表面に水滴が付いた場合は、必ず拭きとってからご使用ください。
- ・約20kPa(水深最大2.0m)を超えて、または水中で60分以上使用しないでください。
- ・本製品は水中で沈みます。使用する際はストラップなどを利用して、水中に落とさないように注意してください。
- ・水中での使用前には、USBカバーや背面カバーをしっかりと閉じてください。

- ・海水中での使用後は、USBカバーや正面カバーを開けて真水で洗浄してください。その際、背面カバーは絶対に開けないでください。
- ・水に濡れた状態で背面カバーを絶対に開けないでください。
- ・水中で本製品に衝撃を与えないでください。本製品を持って水中に飛び込んだり、急流や滝などの激しい水圧をかけたりしないでください。本製品に高い水圧が直接かかるようなご使用はしないでください。
- ・洗浄方法は「お手入れのしかた」(▶P.34)を参照して行ってください。
 - ※ 海水で使用后または浸かった場合は必ず洗浄を行い、充電を行う際には完全に乾いてから行ってください。
- ・日焼け止めやサンオイルが付着すると、端末の表面の変色や故障の原因となることがあります。付着した場合は、速やかに洗い流してください。
- ・水中ではタッチパネルは操作できません。

充電のときは

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

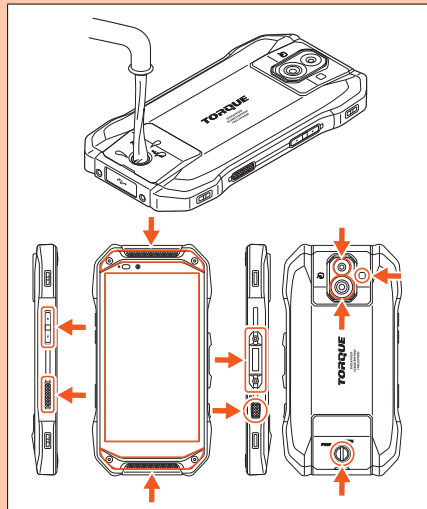
- ・本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- ・本体が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、USBカバーを開いたりしてください。
- ・USBカバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。USBカバーからの浸水を防ぐため、別売のワイヤレス充電台を使用して充電することをおすすめします。
- ・濡れた手で指定の充電用機器(別売)に触れないでください。感電の原因となります。
- ・指定の充電用機器(別売)は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりでは使用しないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。

お手入れのしかた

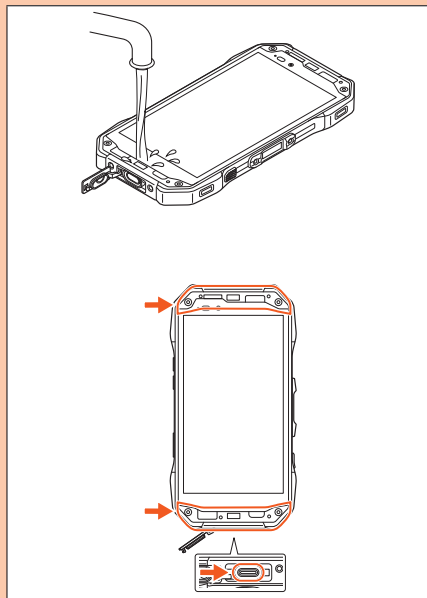
海水や砂、泥、ほこりなどの異物が本製品に付着するような場所で使用したとき、そのまま使用すると故障の原因となる場合がありますので、次の方法でお手入れを実施してください。

- 1 電源を切り、背面カバーを付けたまま、弱めの水流(6リットル／分以下)で以下の箇所(→)を洗い流します。

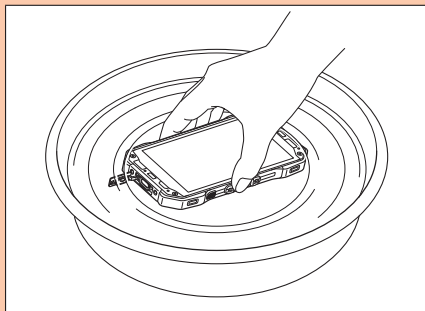
ゴムパッキン部に砂や海水が残っていると防水性を損なうおそれがあります。ボタン類についても押しながらい洗い流してください。



- 2** 正面カバー(▶P.47)を取り外し、USBカバーを開けて、以下の箇所(→)を重点的に洗い流します。正面カバーも同様に洗い流してください。

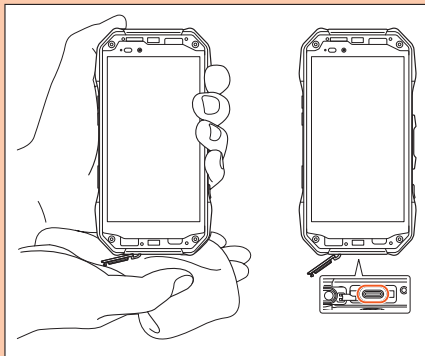


- 3** 洗面器に真水を5cmほど張り、そのままの状態ですべてを軽く2分程度揺すり洗いします。正面カバーも同様に揺すり洗いをしてください。



- 4** 柔らかい布で拭き取り、各端子カバーを押さえながら軽く叩き、水分を抜き取ってください。また、スピーカー部や気圧センサー部も同様にして軽く叩き、水分を抜き取ってください。

気圧センサー部に水分が付着していると、気圧センサーが正常に動作しない場合があります。



5 「水に濡れたときの水抜きについて」(▶P.36)を参照し、水抜きをしてください。

6 十分に乾燥して、コネクタ部に水滴が残っていないことを確認し、USBカバーを閉じ、正面カバー(▶P.47)を取り付けてください。

 memo

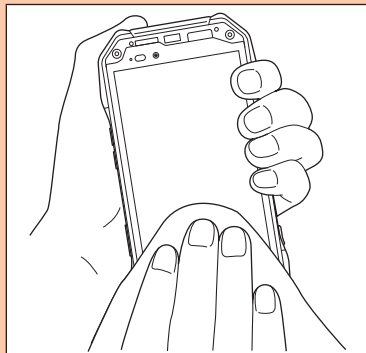
◎USBカバーを閉じるときや、正面カバーを取り付けるときは、風通しの良い日陰で十分乾燥させるなどしてから、水滴が残っていないことを確認してから行ってください。また充電を行う際には完全に乾いてから行ってください。

水に濡れたときの水抜きについて

本製品が水に濡れた場合、必ずスピーカー、送話口(マイク)、気圧センサーの水抜きをしてください。そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らしてしまう場合や音が聞こえにくくなる場合があります。

次の手順で水抜きを行ってください。

1 本製品表面の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

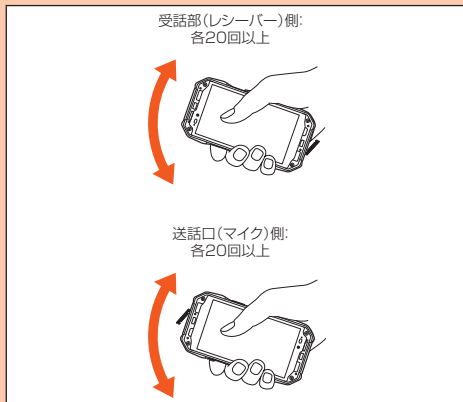


2 振りかたについて

①本製品をしっかり持ち、水が出なくなるまで本製品を矢印方向に振ります。

※ 振る際は周りに危険がないことを確認してください。

※ 本製品が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。

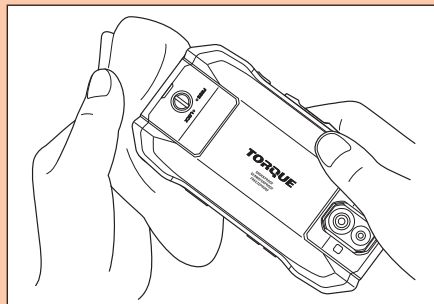


②出てきた水分を拭き取ります。

※ 送話口(マイク)、気圧センサー、スピーカー、外部接続端子部や各ボタンは特に水が抜けにくいので、押し付けるように各部分を下側にして拭き取ってください。

③乾いたタオルや布の上に置き、常温でしばらく放置します。

3 繊維くずの出ない乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当て、送話口(マイク)・スピーカー・気圧センサーなどの隙間に入った水分を拭き取ってください。



4 本製品から出た水分を十分に取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させてください。

上記手順を行った後でも、本製品に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののそばには置かないでください。また、衣服やかばんなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®) 機能について

- ・本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格に準拠し、認定を取得しています。
- ・一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- ・本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内規格、FCC規格に準拠し、認定を取得しています。
- ・一部の国／地域では無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- ・無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- ・電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- ・テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。

- ・近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- ・通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n/ac

J52 W52 W53 W56

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。



- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。従って、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- ◎ Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

・Bluetooth®機能:2.4FH1/XX1



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式等を採用し、与干渉距離は約10m以下です。移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

・無線LAN(Wi-Fi®)機能:2.4DS4/OF4



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

5.2GHz/5.3GHz帯(W52/W53)の屋外使用は電波法で禁止されています。
但し、5.2GHz帯高出力データ通信システムの基地局、陸上移動中継局との通信を除きます。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

- ・ W52 (5.2GHz帯／36, 40, 44, 48ch)
- ・ W53 (5.3GHz帯／52, 56, 60, 64ch)
- ・ W56 (5.6GHz帯／100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)

各種暗証番号／PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

● 暗証番号

使用例	①お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
	②お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● パスワード(NFC/おサイフケータイロック)

使用例	「NFC/おサイフケータイロック」を利用する場合
初期値	1234

PINコードについて

■ PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力可否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力可否は入力が必要な設定になっていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力可否は入力が必要な設定に変更できます。
- 入力が必要な設定で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更の上で使用ください。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられているプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。

- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・トヨタ au取扱店もしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- PINコードは「データの初期化」を行ってもリセットされません。

＜この部分をコピーしてご使用ください＞

【パスワード記載欄】	
GoogleアカウントID @gmail.com	セキュリティ(スタート画面):ロックNo.
Googleアカウントパスワード	セキュリティ(スタート画面):パスワード
au ID	セキュリティ(スタート画面):パターン
au IDパスワード	
FacebookアカウントID	
Facebookアカウントパスワード	

※ アカウントやパスワードは、他人に知られることのないよう厳重に管理してください。

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。
※ 無線LAN (Wi-Fi®) の場合はデータ通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- ・アプリケーションのインストールは安全であることをご確認の上、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、他のアプリケーションや携帯電話全体の動作に影響を及ぼすものもあります。また、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- ・万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- ・アプリケーションによっては、microSDメモ리카ードをセットしていないと利用できない場合があります。
- ・アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなったりするものがあります。
- ・本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。

確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、「許可」／「許可しない」をタップしてください。

- ・アプリ／機能によっては「常に許可」／「アプリの使用のみ許可」などが表示される場合があります。

例: File Commanderを初めて起動した場合

1 アクセス権限の確認画面→[許可]／[許可しない]

通常は「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

アプリごと／機能ごとに設定する

■ アプリごとに設定する場合

1 ホーム画面→[]→[設定]→[アプリと通知]

2 [XX 個のアプリをすべて表示]→アプリを選択→[権限]→機能を選択→[許可]／[許可しない]

■ 機能ごとに設定する場合

- 1 ホーム画面→→[設定]→[アプリと通知]
- 2 [アプリの権限]→機能を選択→アプリを選択→[許可]/[許可しない]



memo

- ◎ 許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- ◎ アプリ／機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- ◎ 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- ・ 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。

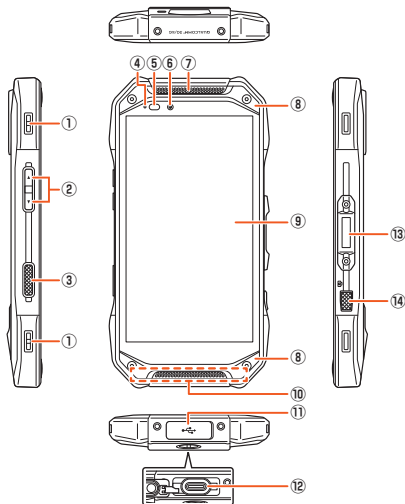
- ・ 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

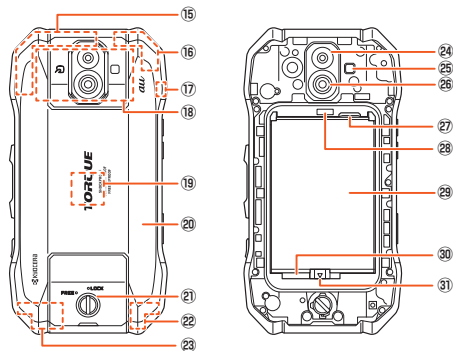
- ・ 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- ・ 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- ・ 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まったの通話や操作は控えましょう。
- ・ 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- ・ 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- ・ 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- ・ 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- ・ カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- ・ 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- ・ 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

ご利用の準備

各部の名称と機能



- ① ストラップ取付口
- ② ◀ ▶ 音量上／下ボタン
音楽や動画などのメディア音量を調節します。
- ③ ダイレクトボタン
長く押すと、設定した機能が動作します。
- ④ 着信(充電)ランプ
充電中は赤色で点灯します。
不在着信時や新着メール通知時に緑色で点滅します。
- ⑤ 近接センサー／光センサー
近接センサーは通話中にディスプレイを覆うと、画面を消灯しタッチパネルの誤動作を防ぎます。
光センサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。
- ⑥ インカメラ(レンズ部)
- ⑦ 受話部(レシーバー)／スピーカー
通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音などが聞こえます。
- ⑧ 正面カバー
お手入れをするときや、正面スクリーンを交換するとき
に外します。
「正面カバーを取り付ける／取り外す」(▶P.47)
- ⑨ ディスプレイ(タッチパネル)
- ⑩ 送話口(マイク)／気圧センサー／スピーカー
通話中の相手の方はこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。通話中や動画の録画中は、送話口(マイク)を指などでおおわないようにご注意ください。



⑪ USBカバー

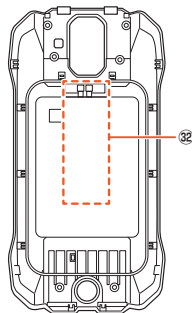
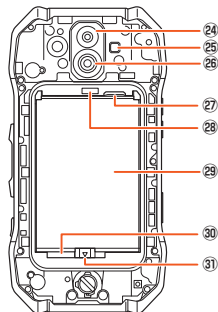
カバーにいている穴は、防水構造上必要な穴となります。
とがったものでついたり、塞いだりしないでください。

⑫ 外部接続端子

TypeC共通ACアダプタ02(別売)などの接続時に使用
します。

⑬ 電源ボタン／指紋センサー

電源のオン／オフやスリープモードの移行／解除などに
使用します。
指紋を登録している場合は、指紋認証で画面ロックを解
除します。



背面カバー（裏面）

⑭ カメラボタン

長く押すとカメラを起動できます。また、静止画撮影や水
中カメラ画面でのシャッターとして使用します。

⑮ 内蔵サブアンテナ部^{※1}

⑯ 内蔵GPSアンテナ部^{※1}

⑰ 内蔵Bluetooth®／Wi-Fi®アンテナ部^{※1}

⑱ NFC(FeliCa対応)アンテナ部^{※1}

おサイフケータイ®利用時に、リーダー／ライターにかざ
してください。

IC通信で、データの送受信を行います。

19 ワイヤレス充電部^{※1}

ワイヤレス充電を行う際は、「TORQUE」ロゴの「R」の文字部分を別売のワイヤレス充電台の☐マーク部に重ねてください。

20 背面カバー^{※2}

21 ロックノブ

22 内蔵WiMAX 2+アンテナ部^{※1}

23 内蔵メインアンテナ部^{※1}

24 アウトカメラ(レンズ部)

25 撮影ライト/簡易ライト

26 ワイドカメラ(レンズ部)

27 au Nano IC Card 04スロット

28 ワイヤレス充電アンテナ接続端子

29 電池パック

電池パックを取り外すと、au Nano IC Card 04スロットとmicroSDメモ리카ードスロットがあります。

30 microSDメモ리카ードスロット

31 電池ロック

32 ワイヤレス充電アンテナ部/充電接点部

※1 アンテナ部付近を手でおおったり、シールなどを貼ったりしないでください。通話/通信品質/ワイヤレス充電に影響を及ぼす場合があります。

※2 ワイヤレス充電アンテナ部/充電接点部の位置にあたる背面カバーには、シールなどを貼ったりしないでください。ワイヤレス充電に影響を及ぼす場合があります。



memo

- ◎ 近接センサー/光センサー上にシールなどを貼らないでください。
- ◎ 気圧センサーが搭載されています。気圧表示に関するアプリを使用すると、気圧と高度を表示させることができますが、この気圧と高度の値は絶対的なものではありません。さまざまな変動要因があり、あくまで目安の値となります。
- ◎ 送話口(マイク)/気圧センサー/スピーカーにある膜面のシートは、はがさないでください。
- ◎ ディスプレイ(タッチパネル)保護のために正面スクリーンが貼られています。破損したときや古くなったときには別売の正面スクリーン(KYV46KGA)と交換することができます。

着信ランプ/充電ランプについて

着信ランプ/充電ランプの点灯/点滅により、充電中の充電状態、不在着信やメールの受信などをお知らせしたりします。

LEDの色と動作	通知内容
赤の点灯	充電中であることを示します。
緑の点灯	充電が完了したことを示します。
緑の点滅	不在着信、通知メッセージがあることを示します。

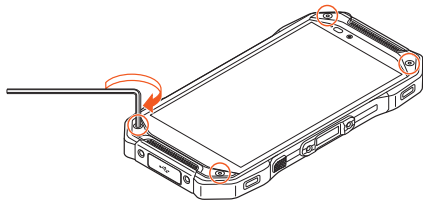
正面カバーを取り付ける／取り外す

正面カバーはお手入れをするときや、正面スクリーンを交換するときに外します。それ以外の時は取り外さないでください。

正面カバーを取り付ける

- 1 六角レンチ(試供品)を使用して、○部分の4箇所のネジを矢印の方向に回す

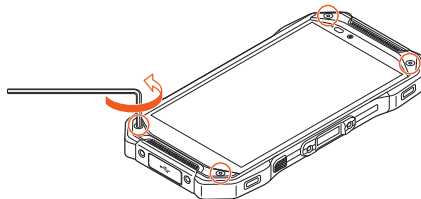
必要以上に締めつけると破損するおそれがあります。



正面カバーを取り外す

- 1 六角レンチ(試供品)を使用して、○部分の4箇所のネジを矢印の方向に回す

紛失防止ネジのため、正面カバーから外れにくくなっています。ネジが付いたまま正面カバーは取り外せません。



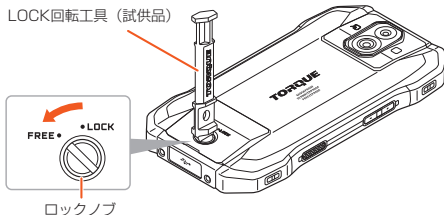
電池パックを取り付ける／取り外す

電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。

- ・ 本製品専用の電池パックをご利用ください。

電池パックを取り付ける

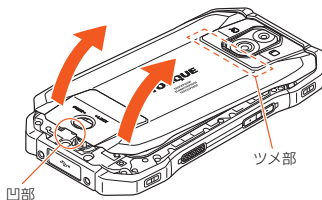
1 LOCK回転工具(試供品)を使用して、ロックノブを「FREE」の方向に回す



2 本体裏面の背面カバーを取り外す

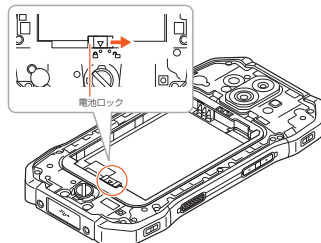
背面カバーの中央の凹部に指先(爪など)をかけて、矢印の方向に持ち上げて取り外します。

- 背面カバーの裏側にあるツメ部を外すようにして、取り外してください。



3 電池ロックを (開) の方向にスライドさせる 電池ロックが解除されます。

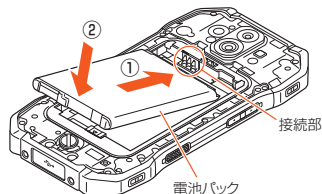
- 電池ロックが解除されていないと、電池パックを取り付けることができません。



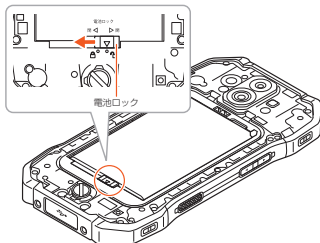
4 電池パックを取り付ける

接続部の位置を確かめて、電池パックをスライドさせて確実に押し込んでください。

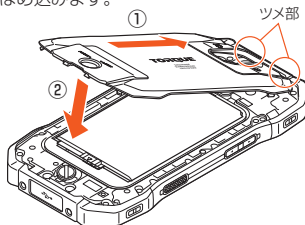
- au ICカードとmicroSDメモ리카ードが確実に装着されていることを確認してから、電池パックを取り付けてください。



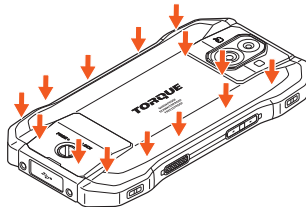
- 5** 電池ロックを  (閉) の方向にスライドさせる
電池ロックがロックされ、電池パックが固定されます。
- microSDメモ리카ードが奥まで入っていないと、電池ロックは  (閉) の方向にスライドできません。



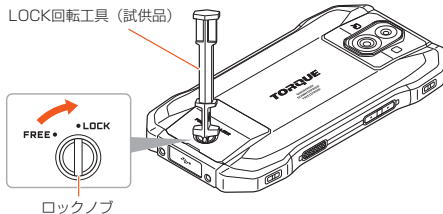
- 6** 背面カバーを取り付ける
- 背面カバーの先端2箇所のツメ部から背面カバーを斜めに挿入してから①、背面カバーの下端を押して②はめ込みます。



- 7** 背面カバー全体に浮きがないように注意しながら、矢印の箇所を押してしっかりと閉じる
- 電池ロックがロックされていないと、背面カバーは閉じられません。



- 8** LOCK回転工具(試供品)を使用して、ロックノブを「LOCK」の方向に回す
- 必要以上に締めつけると破損するおそれがあります。
- 電池ロックがロックされていないと、「LOCK」の方向に回すことはできません。



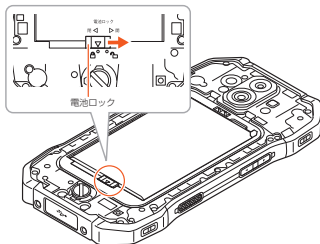


◎ 取り付け時に間違った取り付けかたをすると、電池パック破損の原因となります。

電池パックを取り外す

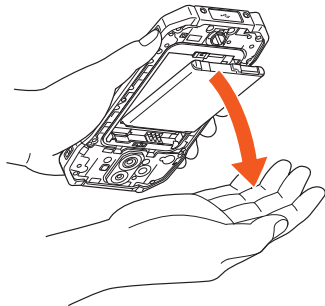
1 背面カバーを取り外す(▶P.48)

2 電池ロックを (開) の方向にスライドさせる 電池ロックが解除され、電池パックの固定も解除されます。



3 電池パックを取り外す

電池パックが飛び出さないように手で受けながら、手のひらを合わせるように叩いて取り外してください。



4 電池ロックを (閉) の方向にスライドし、背面カバーを取り付ける(▶P.48)

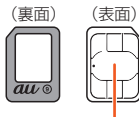


◎ 電池パックを取り外すときに、ドライバなどの工具を用いしないでください。電池破損のおそれがあります。

au ICカード(SIMカード)について

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。
本製品はau Nano IC Card 04
に対応しております。

au Nano IC Card 04



IC(金属)部分



memo

- ◎ au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - ・ au ICカードのIC(金属)部分には触れないでください。
 - ・ 正しい挿入方向をご確認ください。
 - ・ 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- ◎ au ICカードを正しく取り付けしていない場合やau ICカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎ 取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。
- ◎ 変換アダプタを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。

au ICカードが挿入されていない場合

au ICカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。

- ・ 電話をかける^{*}／受ける
- ・ SMSの送受信
- ・ +メッセージの送受信
- ・ auメールの初期設定および送受信
- ・ SIMカードロック設定
- ・ 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。

^{*} 110(警察)・119(消防機関)・118(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。ただし、海外では緊急通報に限り発信可能な場合があります(なお、緊急通報番号は国によって異なります)。

■ PINコードによる制限設定

au ICカードをお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やSIMカードのロックにより他人の使用を制限できます(▶P.40「PINコードについて」)。

au ICカードを取り付ける／取り外す

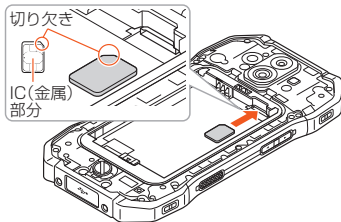
au ICカードの取り付け／取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

au ICカードを取り付ける

1 本製品の電源を切り、電池パックを取り外す(▶P.50「電池パックを取り外す」)

2 au ICカードの挿入方向を確認し、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し込む

切り欠きの位置とIC(金属)面の向きに注意してください。挿入時はカチッと音がしてロックされていることをご確認ください。また、ロックされる前に指を離すとau ICカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。



3 電池パック・背面カバーを取り付ける(▶P.48)

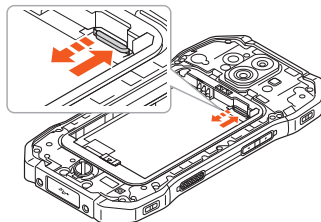
au ICカードを取り外す

1 本製品の電源を切り、電池パックを取り外す(▶P.50「電池パックを取り外す」)

2 au ICカードを矢印の方向に押し込む

カチッと音がするまで押し込むとau ICカードが出てきます。

- au ICカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。



3 au ICカードをゆっくり引き抜く

au ICカードをまっすぐにゆっくりとスライドさせて、引き抜いてください。

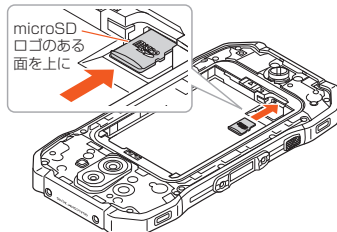
- ロック解除できず出てこない場合があります。そのときは指で軽く引き出して取り外してください。

4 電池パック・背面カバーを取り付ける(▶P.48)

microSDメモ리카ードを取り付ける／取り外す

microSDメモ리카ードを取り付ける

- 1 本製品の電源を切り、電池パックを取り外す(▶P.50「電池パックを取り外す」)
- 2 microSDメモ리카ードの挿入方向を確認し、まっすぐにゆっくり差し込む



- 3 電池パック・背面カバーを取り付ける(▶P.48)



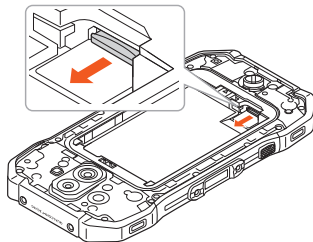
memo

◎ microSDメモ리카ードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損したりするおそれがあります。

microSDメモ리카ードを取り外す

- 1 本製品の電源を切り、電池パックを取り外す(▶P.50「電池パックを取り外す」)
- 2 microSDメモ리카ードを矢印の方向にゆっくりと引き抜く

microSDメモ리카ードをまっすぐにゆっくりとスライドさせて、引き抜いてください。



- 3 電池パック・背面カバーを取り付ける(▶P.48)



memo

- ◎ microSDメモ리카ードの端子部には触れないでください。
- ◎ microSDメモ리카ードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
- ◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモ리카ードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

充電する

お買い上げ時には、電池パックは十分に充電されています。必ず充電してからお使いください。赤色に点灯していた充電ランプが緑色に変わったら充電完了です。



memo

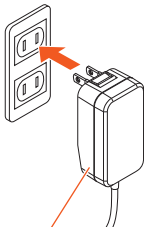
- 指定の充電用機器(別売)は、防水対応していません。本製品が濡れているときは、絶対に充電しないでください。
- 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 周囲温度や本製品の温度が、極端に高温や低温になっている場合には、充電が停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。
- カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
- 電池パックは、「安全上のご注意(必ずお守りください)」(▶P.11)をよくお読みになってお取り扱いください。
- 指定の充電用機器(別売)を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります、電池のもちが悪くなります。
- 本製品の充電ランプが赤色に点滅したときは、電池パックの取り付け、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- 水分やほこりなどが入らないように、USBカバーは、充電後しっかりと閉めてください。また、強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。

- 指定の充電用機器(別売)やUSB Type-Cケーブル(市販品)を接続している状態で、ワイヤレス充電をしないでください。充電が正しく行われないだけでなく、故障の原因となる場合があります。
- 外部接続端子に金属製のアクセサリや導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。
- 充電中は電流による磁気の影響し、地磁気センサーが正常に動作しないことがあります。

指定のACアダプタを使って充電する

TypeC共通ACアダプタ02(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)については、「周辺機器」(▶P.75)をご参照ください。

1 TypeC共通ACアダプタ02(別売)の電源プラグをコンセント(AC100V~240V)に差し込む



TypeC共通ACアダプタ02 (別売)

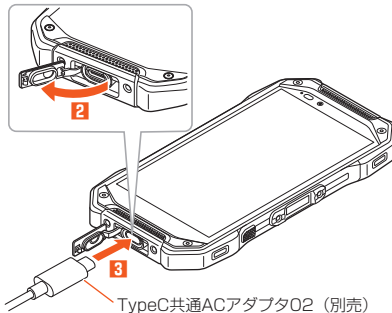
2 本製品のUSBカバーを開ける

3 TypeC共通ACアダプタ02(別売)のUSB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込む

USB Type-Cプラグは表裏どちらの向きでも差し込むことができます。

本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。本製品の電源が入っている場合は、ステータスバーに「**B**」が表示されます。

充電が完了すると、充電ランプの色が緑色に変わります。



TypeC共通ACアダプタ02 (別売)

4 充電が完了したら、外部接続端子からTypeC共通ACアダプタ02(別売)のUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜く

5 USBカバーを閉じる

6 TypeC共通ACアダプタ02(別売)の電源プラグをコンセントから抜く



- ◎ 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがあります。充電は開始しています。

ワイヤレス充電台を使って充電する

ここでは、ワイヤレス充電台02(別売)を利用して充電する方法を説明します。

使用上のご注意事項や詳細な説明は、ワイヤレス充電台02(別売)に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

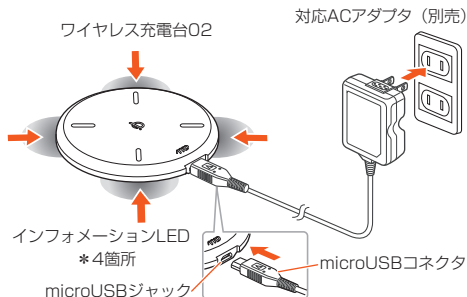


左記マークのあるau指定のワイヤレス充電対応製品(別売)の上に置くだけで、ケーブルを接続せずに充電できます。対応する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
このマークが付いている製品は、ワイヤレスパワーコンソーシアム(WPC)による無接点充電規格に適合しています。



本製品は「おくだけ充電[®]」に対応しています。
「おくだけ充電」、「おくだけ充電」ロゴは、株式会社NTTドコモの登録商標です。

1 ワイヤレス充電台02(別売)のmicroUSBジャックに対応ACアダプタ(別売)のmicroUSBコネクタを接続し、対応ACアダプタ(別売)の電源プラグをコンセント(AC100V~240V)に差し込む

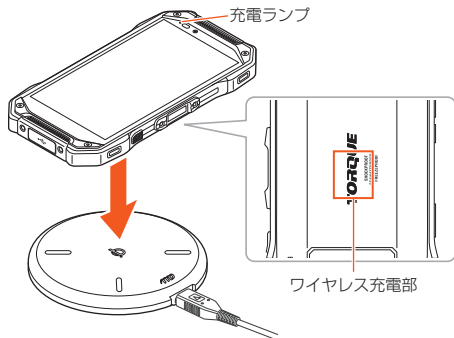


2 本体背面のワイヤレス充電部を下向きにして、「TORQUE」ロゴの「R」の文字部分をワイヤレス充電台02(別売)のΦマークと重なるように置く

インフォメーションLEDが青色に点滅し、約12秒後に点灯に変わり、本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。約12秒過ぎてもインフォメーションLEDが青く点滅している場合は、本製品が充電可能な位置から外れています。本製品を置く位置を調整してください。

充電が完了すると、充電ランプの色が緑色に変わります。

※ 本製品の場合、充電が完了してもワイヤレス充電台02(別売)のインフォメーションLEDは青色に点灯したままになります。その他、インフォメーションLEDの点灯状態や充電状態につきましては、ワイヤレス充電台02(別売)に付属の取扱説明書をご覧ください。



3 充電が終わったら、本製品を取り外し、対応ACアダプタ(別売)の電源プラグをコンセントから抜く



- ◎ インフォメーションLEDが青色に点灯開始した位置から本製品の位置をずらすと、充電されなかったり、充電時間が長くなったりする場合があります。一旦取り外し、約15秒の間隔をあけた後、インフォメーションLEDが青色に点灯する位置に置き直してください。
- ◎ 充電が開始されない場合は、背面カバーが正しく取り付けられているか確認してください。また背面カバー内部の充電接点部に汚れがないか確認してください。
- ◎ ワイヤレス充電時は、電池パックの寿命の低下を抑えるため、充電量を抑える制御を行っています。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 着信ランプが点灯するまで (電源ボタン) を長く押す

スタート画面が表示されます(▶P.59)。

- 初めて電源を入れたときは、初期設定が起動します。必要に応じて設定を行ってください。詳しくは同梱の『設定ガイド Android 10 対応版』の「初期設定」をご覧ください。



memo

- ◎ 電源を入れてから各種ロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。
- ◎ 初回起動時に初期設定の操作をスキップしても、後から設定することができます。

電源を切る

1 (電源ボタン) を1秒以上長く押す

2 [電源を切る]

強制的に電源を切り再起動する

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切り再起動することができます。

1 (電源ボタン) と (音量上ボタン) を同時に11秒以上長く押す



memo

- ◎ 強制的に電源を切り再起動すると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

スタート画面について

スタート画面は、電源を入れたときやスリープモードを解除したときに表示されます。

スタート画面からホーム画面を表示する

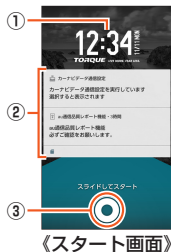
スタート画面が表示されたときは、次の操作でホーム画面を表示できます。

1 「」を「START」の方向にスライド／フリック

ホーム画面が表示されます(▶P.60)。またはスリープモードに移行する前の画面が表示されます。

・「CAMERA」／「PHONE」の方向にスライド／フリックすると、カメラ／電話(▶P.67)

を起動できます。



① 時計表示

② 通知表示

不着信などのお知らせを表示します。

・通知をダブルタップすると通知されたアプリを起動します。

③ STARTアイコン



memo

- ◎  → [START]／[CAMERA]／[PHONE]と操作しても、ホーム画面の表示／カメラの起動／電話の起動ができません。

スリープモードについて

画面のバックライト点灯中に (電源ボタン)を押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。次の操作を行うと、スリープモードを解除できます。

1 スリープモード中に (電源ボタン)

スタート画面が表示されます(▶P.59)。



memo

- ◎ スリープモードに移行するまでの時間を変更するには、ホーム画面→ → [設定] → [ディスプレイ] → [スリープ] → [スリープ時間]と操作して、時間を選択します。
- ◎ スリープモード中に (電源ボタン)を押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

基本操作

ホーム画面を利用する

ホーム画面は、複数の画面で構成されており、左右にスライド／フリックすると画面を切り替えることができます。

- ① ステータスバー
- ② ショートカット／フォルダ
- ③ クイック起動エリア
- ④ アプリ一覧表示アイコン



《ホーム画面》

アプリを起動する

アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

1 ホーム画面→[📦]

アプリ一覧が表示されます。

- ・ホーム画面を上からスワイプしても、アプリ一覧を表示できます。

2 起動するアプリをタップ

- ・フォルダをタップした場合は、フォルダ内のアプリ一覧から起動するアプリをタップします。

ホームアプリを切り替える

お客様がホームアプリのインストールを行った場合は、本製品のホームアプリを切り替えることができます。

- 1 ホーム画面→[📦]→[設定]→[アプリと通知]→[デフォルト アプリ]→[ホームアプリ]→ホームアプリを選択

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■ 主な通知アイコン

アイコン	概要
	時刻
	不在着信あり
	新着+メッセージあり／新着SMSあり
	新着メールあり (auメール)
	新着メールあり (Gmail)
	緊急速報メールあり
	スヌーズ中のアラームまたは解除せずに終了したアラームあり
	カレンダーの予定通知あり
	通話中または着信中
	伝言メモあり
	Outdoor Portal (▶P.1) で読み上げ通知が有効
	本体の空き容量が少ないとき
	他のBluetooth®機器からファイル受信リンクエストあり
	データを送信／アップロード

アイコン	概要
	データを受信／ダウンロード
	インストール完了
	インストール済みアプリのアップデート通知
	ソフトウェア更新あり
	スクリーンショット完了
	USBテザリング中
	Bluetooth®テザリング中
	Bluetooth®テザリングとUSBテザリングを同時に使用中
	microSDメモ리카ードのマウント中

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
	電池レベル状態
	100%／ 残量なし／ 充電中／ バッテリーケアモード設定中
	電波の強さ・通信状態 (LTE／WiMAX 2+) レベル4／ 圏外／ 通信中 4G LTE／WiMAX 2+使用可能*／ ローミング中 (ネットワークに応じた通信方式も合わせて表示します)
	機内モード設定中

アイコン	概要
	Wi-Fi®の電波の強さ・Wi-Fi対応規格 アイコンの右側に表示される数字は、接続中の無線LAN(Wi-Fi®)の規格により異なります。  レベル4 /  レベル0
	アラーム設定あり
	マナーモード設定中  バイブレーション設定中 /  ミュート設定中 /  ドライブモード設定中
	Bluetooth®機器と接続中
	伝言メモ設定中  伝言メモ設定中 /  伝言メモ全件録音済み
	VPN接続中
	GPS利用中
	データセーバー設定中
	Wi-Fi®テザリング中

※ 日本国内においては、「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況等に応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

通知パネルについて

通知パネルでは、お知らせの確認や対応するアプリの起動ができます。また、ON/OFF設定アイコンが表示され、よく使う機能のオン/オフがすぐに設定できます。

1 ステータスバーを下にスライド

通知パネルが表示されます。

-  をタップすると通知パネルを非表示にします。



memo

- ◎ 通知パネルを上にもスライドしても、通知パネルを非表示にすることができます。
- ◎ 通知を個別に消去するには、消去したい通知を左右にフリックします。画面右下の「すべて消去」をタップすると、通知がすべて消去されます。ただし、消去できない通知もあります。

マナーモードを設定する

マナーモードを設定することで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 ◀ (音量上ボタン) または ▶ (音量下ボタン) を押す

マナーモードアイコンと音量調節バーが表示されます。

2 マナーモードアイコンをタップしてマナーモードの種類を切り替える



マナーモードアイコンをタップするたびに、以下の通りに切り替わります。

- 🚫: マナーモードOFF
- 📞: マナーモード(バイブレーション)
- 🚫: マナーモード(ミュート)
- 🚗: ドライブモード

memo

- ◎ 音量調節バーでは、動画などのメディア音量を調整できます。また、「🔊」をタップすると、音の設定画面が表示され、詳細な音設定ができます。
- ◎ マナーモード設定中でもカメラのシャッター音や録画開始/終了音、タイマー音は鳴動します。
- ◎ 「ドライブ」を選択した場合、着信時は運転中であることをお知らせするアナウンスが流れ、自動的に伝言メモが起動します。
- ◎ マナーモード設定中に消音の状態ではデータが再生された場合、機能によっては、再生中に◀ (音量上ボタン) / ▶ (音量下ボタン) を押すと音量を調節できます。

機内モードを設定する

機内モードをオンに設定すると、ワイヤレス機能(電話、データ通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能)がすべてオフになります。

1 ステータスバーを下にスライド→[機内モード]

機内モードがオンに設定されると、ステータスバーに「📴」が表示されます。

- ホーム画面→[📱]→[設定]→[ネットワークとインターネット]→「機内モード」を「ON」にしても、機内モードをオンに設定できます。



- ◎機内モードがオンの場合でも無線LAN(Wi-Fi®)/Bluetooth®機能をオンにすることができます。航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。
- ◎機内モードをオンに設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的に機内モードはオフに設定されます。
- ◎機内モードをオンに設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能による通信などもオフにします。

自分の電話番号を確認する

- 1 ホーム画面→→[設定]→[プロフィール]
プロフィール画面が表示されます。

指紋認証機能を利用する

- 本製品には指紋センサー()が搭載されており、登録した指で触れることで、画面ロックを指紋認証で解除できます。
- ・指紋認証利用時のご注意や、指紋センサー利用時のご注意については、auホームページより『取扱説明書 詳細版 Android 10 対応版』または『オンラインマニュアル』をご参照ください。

指紋を登録する

- 1 ホーム画面→→[設定]→[セキュリティ]→[指紋]
 - ・追加で指紋を登録する場合は、ホーム画面→→[設定]→[セキュリティ]→[指紋]→セキュリティを解除→[指紋を追加]と操作します。
- 2 [次へ]
以降は画面の指示に従って操作してください。

指紋認証を行う

- 1 スタート画面表示中に、登録した指でに触れる
スタート画面でをスライド/フリックすると、設定した画面ロックの解除方法を入力する画面が表示されます。



- ◎指紋認証が5回連続して認識されなかった場合は、指紋認証ができなくなります。しばらくしてから再度指紋認証を行うか、をスライド/フリックして設定した画面ロックの解除方法を入力してください。

メニューを表示する

画面のメニューを表示する方法には、「」や「」などをタップして表示する方法と、入力欄や項目をロングタッチして表示する方法の2種類があります。

ホーム画面を設定する

ホーム画面の各種表示を設定できます。

1 ホーム画面→空きスペースをロングタッチ→ [ホームの設定]

ホーム設定画面が表示されます。

2 通知ドット	アプリアイコン上に通知ドットを表示するかどうかを設定します。
ホーム画面にアイコンを追加	新しいアプリをダウンロードしたときに、ホーム画面にアイコンを追加するかどうかを設定します。
メインのホーム画面の左側	ホーム画面を右にスライド/フリックしたときの表示を設定します。
アプリ一覧の表示順	アプリ一覧でのアプリの表示順を設定します。
Google検索バーの表示	ホーム画面にGoogle検索バーを表示するかどうかを設定します。

3 各項目を設定

電池消費を軽減する

満充電しないことで、電池の寿命を延ばすことができます。

1 ホーム画面→→[設定]→[電池]→[バッテリーケアモード]→[ON]

バッテリーケアモードが設定されると、ステータスバーの電池アイコンにハートマークが表示されます。



memo

- ◎ バッテリーケアモードをONにすると、充電が85%で止まります。1回の充電での使用時間は短くなります。
- ◎ 86%以上の状態でバッテリーケアモードをONにした場合、85%に減るまで充電されません。

他のモバイル機器を充電する

USB PD規格に対応の他のモバイル機器を、USB Type-C ケーブル(市販品)を使って本製品で充電することができます。

1 他のモバイル機器が接続されたUSB Type-C ケーブル(市販品)を、本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込む

2 ホーム画面→→[設定]→[接続済みのデバイス]→[USB]

3 「接続端末を充電する」をONにする

接続したモバイル機器を充電します。

- 本製品を他のモバイル機器で充電をする場合は「接続端末を充電する」をOFFにします。



memo

- ◎ USBケーブルは、USB PD(Power Delivery) 対応の USB Type-Cケーブル(市販品)をご使用ください。
- ◎ 電池残量が少ないと充電できない場合があります。本機能を使用する前に本製品を充電してください。
- ◎ 長いケーブルを使用すると充電できない場合があります。また、ハブや変換コネクタを介しても充電できない場合があります。
- ◎ 接続機器がUSB PD規格に対応していない場合は充電できません。また、すべてのUSB PD対応機器との充電を保証するものではありません。

電話

電話をかける

- 1 ホーム画面→→「ダイヤルキー」タブをタップ

電話番号入力画面が表示されます。

- 2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

- 3 →通話→

通話中に (音量上ボタン) /  (音量下ボタン) を押すと、通話音量 (相手の方の声の大きさ) を調節できます。



memo

- ◎  (電源ボタン) を1秒以上長く押す→[緊急通報]と操作すると、緊急通報番号(110、119、118)へ発信することができます。
- ◎ 発信中／通話中に顔などによって画面を覆うと、誤動作を防止するため画面が消灯します。
- ◎ 送話口(マイク)を覆っても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。

電話を受ける

- 1 画面上部の着信パネル→[電話に出る]

通話を開始します。

- ・スリープモード中やスタート画面表示中は「 電話に出る」を右にスライドしても電話に出ることができます。

- 2 通話→

連絡先から電話をかける

- 1 連絡先一覧画面→電話をかける連絡先をタップ

連絡先の詳細表示画面が表示されます。

- 2 

付録

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。

■ ご利用上のご注意

- データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生します。Wi-Fi®でのご利用をおすすめします。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157/通話料無料)までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはトヨタ au取扱店(一部ショップを除く)にお持ちください。

- 海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客さまセンター)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

1 ホーム画面→→[設定]→[システム]→[システム アップデート]

以降は、画面の指示に従って操作してください。



memo

- ◎ 利用可能なネットワークを自動検索するために、ご契約内容によっては通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
- ◎ ソフトウェア更新/OSアップデート後に元のバージョンに戻すことはできません。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に「故障紛失サポート」アプリの「クイック診断」および「トラブル診断」でご確認ください。

■ クイック診断

ホーム画面→→[サポート]→[故障紛失サポート]
→[クイック診断してみる]

■ トラブル診断

ホーム画面→→[サポート]→[故障紛失サポート]→
[便利な機能]→[トラブル診断を試す]

以下のauホームページからもご確認ください。

<https://www.au.com/trouble-check/>



『オンラインマニュアル』またはauホームページ掲載の『取扱説明書 詳細版 Android 10 対応版』の「故障とお考えになる前に」もあわせてご覧ください。

<https://www.au.com/online-manual/kyv46/>

<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	電池パックは充電されていますか？	P.54
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.48
	電池パックの端子が汚れていませんか？	—
	 (電源ボタン) を充電ランプが点灯するまで長く押していますか？	P.58
充電ができない	指定の充電用機器(別売)は正しく接続されていますか？	P.55
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.48
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？ 温度によって充電を停止する場合があります。	P.54
	指定の周辺機器(アダプタなど)で充電をしていますか？	P.55
指紋が認証されない	指紋センサー部のキズの確認や汚れをふき取る。	P.64
	指の指紋が汚れ、濡れ、乾燥していないか確認する。	P.64

こんなときは	ご確認ください	参照
ワイヤレス充電台(別売)で充電ができない	本製品をワイヤレス充電台(別売)の充電可能な範囲に正しい向きで置いていますか？	P.56
	本製品とワイヤレス充電台(別売)の間に異物がありますか？	P.56
	ワイヤレス充電台(別売)と専用のACアダプタは正しく接続されていますか？	P.56
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？温度によって充電を停止する場合があります。	P.54
	背面カバーが正しく取り付けられていますか？	P.48
	電池が寿命で膨れると、ワイヤレス充電ができない場合があります。電池を交換してください。	—
ワイヤレス充電台(別売)で充電が完了しない	充電完了後もインフォメーションLEDは消灯しませんが、異常ではありません。本体の表示をご確認ください。	P.56
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？温度によって充電時間が長くなる場合があります。	—
	本製品を使用しながらの充電は、充電時間が長くなる場合があります。	—

こんなときは	ご確認ください	参照
操作できない／画面が動かない／電源が切れない	 (電源ボタン) と  (音量上ボタン) を同時に11秒以上長く押すと強制的に電源を切り再起動することができます。	—
電源が勝手に切れる	電池パックは十分に充電されていますか？	P.54
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	電池パックは十分に充電されていますか？	P.54
電話がかけられない	電源は入っていますか？	P.58
	au ICカードが挿入されていますか？	P.52
	電話番号が間違っていないですか？(市外局番から入力していますか？)	P.67
	電話番号入力後、「  」をタップしていますか？	P.67
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.63

こんなときは	ご確認ください	参照
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.61
	サービスエリア外にいませんか？	P.61
	電源は入っていますか？	P.58
	au ICカードが挿入されていますか？	P.52
	「着信拒否」が設定されていませんか？	—
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.63
 (圏外)が表示される	サービスエリア外か、電波の弱いところにはいませんか？	P.61
	内蔵アンテナ付近を指などで覆っていませんか？	P.44
	au ICカード以外のカードが挿入されていませんか？	P.51
Wi-Fi [®] がつかない	Wi-Fi [®] の電波は十分に届いていますか？	P.62
	Wi-Fi [®] の設定をしましたか？	—
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。	—
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.63

こんなときは	ご確認ください	参照
ディスプレイ／着信ランプは点灯／点滅するが着信音が鳴らない	「着信音の音量」が最小に設定されていませんか？	—
	マナーモードに設定されていませんか？	P.63
ボタン／タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.58
	スタート画面のセキュリティが設定されていませんか？ 電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	— P.58
タッチパネルで意図した通りに操作できない	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。	—
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.58
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	P.54
電話が勝手に応答する	「伝言メモ」が設定されていませんか？	—
電池パックを利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？ ・ 赤色の充電ランプが緑色に変わるまで、充電してください。	P.54
	電池パックが寿命となっていないですか？	P.26
	 (圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.61

こんなときは	ご確認ください	参照
電話をかけたときに受話部(レシーバー)から「ブーツ、ブーツ、ブーツ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱いところにはいませんか？	P.61
	回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直してください。	—
ディスプレイの照明がすぐに消える	「スリープ」が短く設定されていませんか？	—
画面照明が暗い	「明るさのレベル」が暗く設定されていませんか？	—
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって画面の輝度を落とす場合があります。	—
相手の方の声が聞こえない／聞き取りにくい	通話音量が最小に設定されていませんか？	P.67
	受話部(レシーバー)／スピーカーを耳でふさいでいませんか？ 受話部(レシーバー)／スピーカーが耳の穴に当たるようにしてください。	P.44
イヤホンマイクのマイクが使えない	コネクタが正しく挿入されていますか？ 外部接続端子の奥までしっかり挿入してください。	P.76
動作が遅くなった／アプリの動作が不安定になった／一部のアプリを起動できない	メモリの空き容量がなくなると動作が安定しません。空き容量が少なくなったら、不要なアプリを削除してメモリの空き容量を確保してください。	P.61

こんなときは	ご確認ください	参照
電話帳の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知がありますか？ 通知がない場合は、電話帳の着信設定は有効になりません。また、電話帳のグループ着信設定は有効になりません。	—
	同じ電話番号が2件以上電話帳に登録されていませんか？	—
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しく取り付けられていますか？	P.53
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	—
カメラが動作しない	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。	P.54
緊急通報ができない	指定のau ICカードが挿入されていますか？	P.52
	指定のau ICカード以外のカードをご利用になっていませんか？	—
	サービスエリア外か、電波の弱いところにはいませんか？	P.61

アフターサービス

■ 修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※ 保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。



- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までのauの端末は、再生修理した上で交換用端末として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
- ◎ 本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。

- ◎ 電池パックは、電池の材質上または製造上の瑕疵により生じる事象を除き無償修理保証の対象外です。
- ◎ 本製品本体以外の正面スクリーンなどの付属品や試供品は無償修理保証の対象外です。

■ 補修用性能部品について

当社はKYV46本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 無償修理規定

1. 修理受付時は、製造番号（IMEI番号）の情報をお知らせください。製造番号（IMEI番号）は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
2. 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
3. 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。（または、修理ができない場合があります。）
 - ① 取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
 - ② 不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - ③ 当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
 - ④ 使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
 - ⑤ 地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
4. 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。

5. 製品の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。
6. 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
7. 出張による修理対応はお受けできません。
8. 本規定は、日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

※本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■故障紛失サポートについて

auの端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。

月額利用料およびサービスの詳細については、auホームページをご確認ください。

<https://www.au.com/mobile/service/kosho-funshitsu/>



memo

- ◎ ご入会は、auの端末のご購入時のお申し込みに限ります。
- ◎ ご退会された場合は、次回のauの端末のご購入時まで再入会はできません。
- ◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるauの端末のみが本サービスの提供対象となります。
- ◎ auの端末を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- ◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいauの端末をご購入いただいた場合、以前にご利用のauの端末に対する「故障紛失サポート」は自動的に退会となります。
- ◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはトヨタ au取扱店までお問い合わせください。

SIMロック解除

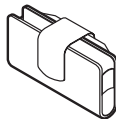
本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除はauホームページ、auショップで受付しております。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除後の設定は、ホーム画面→**[#]**→[設定]→[デバイス情報]→[SIMカードの状態]→[状態の更新]と操作して行ってください。
- 詳しくは、auホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/>

周辺機器

- 電池バック(KYV46UAA)
- 背面カバー(KYV46TLA、KYV46TRA、KYV46TKA)
- 正面カバー(KYV46VLA、KYV46VRA、KYV46VKA)
- 正面スクリーン(KYV46KGA)
- USBカバー(KYV46WAA)
- TypeC共通ACアダプタ01(0601PQA) (別売)
- TypeC共通ACアダプタ02(0602PQA) (別売)
- MicroB-TypeC変換アダプタ(0601PHA) (別売)
- 共通ACアダプタ05(0501PWA) (別売)*
- auキャリングケースGブラック(0106FCA) (別売)



- ワイヤレス充電台01(0101PUA) (別売)
- ワイヤレス充電台02(0102PUA) (別売)
- 京セラ3.5φType-C変換ケーブル(0401QNA)

※ ご利用にはMicroB-TypeC変換アダプタ(別売)が必要です。



memo

◎ 周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。

<https://onlineshop.au.com/>

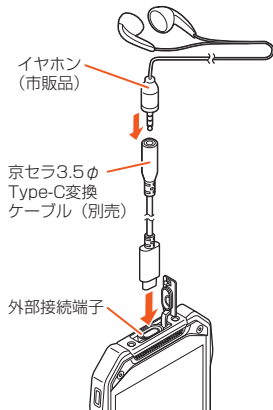
イヤホンを使用する

■ 京セラ3.5φType-C変換ケーブル (0401QNA)(別売)でイヤホン(市販品) を使用する

イヤホン(市販品)は京セラ3.5φType-C変換ケーブル(0401QNA)(別売)と接続して使用します。

- 1 京セラ3.5φType-C変換ケーブル(0401QNA)(別売)にイヤホン(市販品)を接続する
- 2 本製品のUSBカバーを開ける(▶P.55)
- 3 本製品に京セラ3.5φType-C変換ケーブル(0401QNA)(別売)を接続する

京セラ3.5φType-C変換ケーブル(0401QNA)(別売)のUSB Type-Cプラグを、外部接続端子にまっすぐ差し込みます。



memo

◎イヤホン(市販品)によっては、京セラ3.5φType-C変換ケーブル(0401QNA)(別売)に接続できない場合があります。

主な仕様

■ 本体

ディスプレイ	約5.0インチ、約1,677万色、TFT全透過型	
	1,080×1,920ドット(FHD)	
質量	約200g	
サイズ (幅×高さ×厚さ)	約73×150×13.4mm(最厚部 約17.4mm) ※突起部除く	
内蔵メモリ容量 ^{*1}		ROM:約64GB RAM:約4GB
連続通話時間	国内	約1,300分
	海外(GSM)	約690分
連続待受時間	国内	約490時間
	海外(GSM)	約520時間
連続テザリング時間		約830分
Wi-Fi [®] テザリング最大接続数		10台
充電時間 (目安)	TypeC共通ACアダプタ01(別売)	約170分
	TypeC共通ACアダプタ02(別売)	約170分
	ワイヤレス充電台02(別売)	約230分
カメラ撮像素子		CMOS
アウトカメラ有効画素数		約2,400万画素
ワイドカメラ有効画素数		約800万画素
インカメラ有効画素数		約800万画素
無線LAN(Wi-Fi [®])機能		IEEE802.11 a/b/g/n/ac準拠

Bluetooth [®] 機能	対応バージョン	Bluetooth [®] 標準規格 Ver.5.0準拠 ^{*2}
	出力	Bluetooth [®] 標準規格 Class 1
	通信距離 ^{*3}	見通しの良い状態で10m以内
	対応プロファイル・機能 ^{*4}	GATT(Generic Attribute Profile) SPP(Serial Port Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) OPP(Object Push Profile) PBAP(Phone Book Access Profile) HID(Human Interface Device Profile) PAN(Personal Area Networking Profile) PAN-NAP(Personal Area Networking-Network Access Point) PAN USER(Personal Area Networking-User) HOGP(HID over GATT Profile) apt-X Bluetooth SSP MAP(Message Access Profile)

Bluetooth [®] 機能	対応プロファイル・機能 ^{※4}	AAC LDAC DUN (Dial-Up Networking Profile) ^{※5}
	使用周波数帯	2.4GHz帯

- ※1 データとアプリで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリの使用容量により減少します。
- ※2 本製品およびすべてのBluetooth[®]機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth[®]標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- ※3 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
- ※4 Bluetooth[®]機器どうしの使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth[®]標準規格で定められています。
- ※5 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。



memo

- ◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以上になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種KYV46の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

本製品の比吸収率(SAR)については、『オンラインマニュアル』またはauホームページ掲載の『取扱説明書 詳細版 Android 10 対応版』をご覧ください。

<https://www.au.com/online-manual/kyv46/>

<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>

さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、auホームページをご覧ください。

<https://www.au.com/>

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



Google、Google ロゴ、Android、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴ、Playミュージック、Playミュージック ロゴ、Playムービー、Playムービー ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google マップ、Google マップ ロゴ、Googleドライブ、Googleドライブ ロゴ、Googleマップナビ、Googleマップナビ ロゴ、Google Chrome、Google Chrome ロゴ、Google 音声検索、Google 音声検索 ロゴ、YouTube および YouTube ロゴは、Google LLC の商標または登録商標です。

Microsoft®、Windows®およびWindows® 8.1/Windows® 10は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。

Microsoft®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®、Windows Media®、Exchange®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

microSD、microSDHC、microSDXCロゴはSD-3C、LLCの商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

WiMAXは、WiMAXフォーラムの商標です。

Wi-Fi®、WPA®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Direct®、Miracast®はWi-Fi Allianceの登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIED™はWi-Fi Allianceの商標です。

「Qi(チー)」及びqiシンボルはワイヤレスパワーコンソーシアム(WPC)の商標です。

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。

🌀は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。

Twitter、TwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。

InstagramおよびInstagramロゴはInstagram, Inc.の商標または登録商標です。

TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

Amazon、Amazon.co.jpおよびAmazon.co.jpロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標または登録商標です。

Terminal Eleven、Terminal Elevenロゴ及びSkyView®は、Terminal Eleven LLC.の米国における登録商標です。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnIMEを使用しています。

iWnn IME©OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2020
All Rights Reserved.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com).

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/ OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY

AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com).

- (1) ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- (2) 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

「デイリーステップ」「TORQUE(ロゴ)」「LIVE MORE. FEAR LESS.」「ハイブリッドシールド」「ウェットタッチ」「グローブタッチ」「ACTION OVERLAY」は京セラ株式会社の登録商標です。

書体切り替えには、株式会社リムコーポレーションの「もじチェン」を使用しています。「もじチェン」は株式会社リムコーポレーションの登録商標です。

本製品には、株式会社リムコーポレーションの書体を搭載しています。

本製品には、株式会社モリサワの書体を搭載しています。

静止画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「PhotoSolid」を採用しております。「PhotoSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。

画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Rapid Effect」を採用しております。「Morpho Rapid Effect」は株式会社モルフォの商標です。

HDR(High Dynamic Range)技術には「Morpho HDR」を採用しています。「Morpho HDR」は株式会社モルフォの商標です。

USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。

その他本文中に記載されている社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

License

この取扱説明書で説明されている本製品にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点にご注意ください。

- (a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出を行ってはなりません。
 - (b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
 - (c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の非侵害などの黙示の保証を行うものではありません。
- ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。
- なお、オープンソースソフトウェアについては、以降に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

■ オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)、その他のオープンソースソフトウェアのライセンス条件が適用されるソフトウェアを含みます。GPL、LGPL およびその他のライセンスの具体的な条件については、本製品の「デバイス情報」からご参照いただけます。詳細については京セラ株式会社のホームページをご覧ください。

本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェアおよび京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアが含まれています。本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社または第三者が有しており、著作権法上認められた使用法および京セラ株式会社が別途認めた使用法を除き、お客様は京セラ株式会社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

■ 診断および使用状況データの記録

京セラ株式会社では、製品とサービスの品質の向上のために、お客様のご協力をお願いしています。京セラ株式会社は、予期しないシャットダウンやシステムエラーなどの診断イベントを追跡して対処し、品質とサービス向上を目的として、お客様の端末の故障診断および使用状況データ（お客様によるアプリケーションの使用状況情報、エラーに関するログ情報、およびお客様によるアプリケーションの使用に関する詳細情報（特定の機能、使用頻度、メモリ／電池の使用状況）を端末内に記録、保存しております。これらの情報はお客様より端末の修理依頼があった際に、お客様の同意のうえ収集することがあります。

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合案内 (通話料無料)

受付時間 9:00～20:00 (年中無休)

au携帯電話から

局番なしの157番

au携帯電話以外/一般電話から

0077-7-111

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。(無料)

0120-977-033 (沖縄を除く地域)

0120-977-699 (沖縄)

盗難・紛失・故障案内 (通話料無料)

受付時間 24時間 (年中無休)

au携帯電話から

局番なしの113番

au携帯電話以外/一般電話から

0077-7-113

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。(無料)

0120-925-314

故障紛失サポートセンター

盗難・紛失・故障 (通話料無料)

受付時間 9:00～20:00 (年中無休)

au携帯電話/au携帯電話以外/一般電話から

0120-925-919



やめましょう、
歩きスマホ。



あぶない!
電池への衝撃



キケン!
水ぬれ充電

濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な
資源を再利用するためにお客様が不要となってお
持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メー
カーを問わず  マークのあるお店で回収し、
リサイクルを行っています。

2020年10月第2版

発売元: KDDI (株)・沖縄セルラー電話 (株)

製造元: 京セラ株式会社

5KKTKB46KAXA- 1020SZ



管理用コード